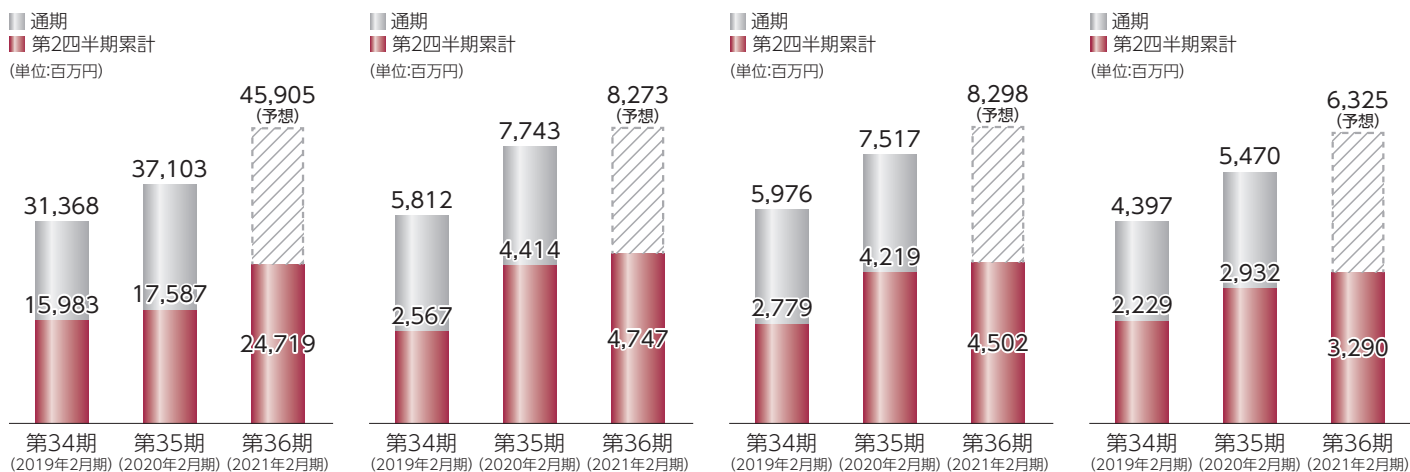
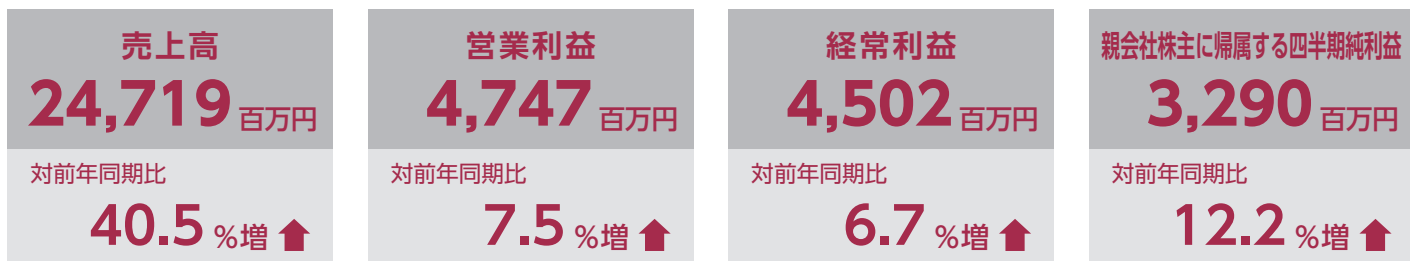


半導体ウエハを搬送する
当社ロボットシステム製品

業績ハイライト(連結) Consolidated Financial Highlights

2021年2月期 第2四半期(累計)の業績



2021年2月期 通期業績見通し





韓国子会社におけるFPD関連装置の大型受注と販売、さらに半導体関連装置の売上高が引き続き好調に推移したことから、経営成績は前年同期比で増収増益となりました。一方でCOVID-19の世界的な流行、米中貿易摩擦の拡大から、景気の先行きは不透明な状態が続いており、この状況に打ち克てるようグループの力で緩まず努めてまいります。

代表取締役社長 藤代 祥之

当第2四半期の経営成績

当第2四半期連結累計期間におきましては、韓国主要取引先からの大口受注に伴いFPD関連装置の売上は前年同期比で約3倍に増加しました。また、当社グループの主力である半導体関連装置の売上高は、台湾ファウンドリ向けのウエハソータ、半導体製造装置メーカー向けのEFEMが堅調に推移し、第1四半期に続き、第2四半期も受注残高高め高水準を維持しております。したがって現時点では、当社の半導体・FPD関連装置事業はCOVID-19の世界的な感染拡大による影響が軽微であると捉えております。一方で、ライフサイエンス事業におきましては、納品先である医療研究機関等がその活動に影響を受け、出荷延期が増えたことにより当初の計画よりも売上が減少しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営業績につきましては、ライフサイエンス事業の計画比マイナスはあるものの、全体に占める割合が少ないことから、売上高は前年同期比40.5%増加しました。損益面につきましては売上製品構成の変化により利益率が減少するも、営業利益が前年同期比7.5%の増加となり、増収増益、予想通りの着地となっております。

通期の見通し

COVID-19による世界経済の低迷が懸念されております。しかし、現在のところ、当社の主軸である半導体・FPD関連装置事業におきましては、テレワーク、オンライン授業の導入等、ビジネススタイルやライフスタイルの変化による設備及び電子機器需要増を背景に、各種プロセッサやメモリ、通信デバイス向け製造設備投資の拡大が期待されております。また、サプライチェーンへの影響も各工場の感染対策継続、輸送手段の整備等により、概ね問題解消の方向へ進んでおります。一方で、米国政府による中国特定企業への輸出管理措置強化から、米中貿易摩擦が大きく顕在化しており、世界経済において新たに不確実な状況が発生しております。

当社におきましても、一部製造装置メーカー向けの案件に影響を与えるリスクを含み、引き続き慎重な対応・対策と米中の動向を注視する必要があります。しかしながら世界的な半導体需要の連鎖から、今期の半導体関連装置の売上高は、N2パーシ対応ウエハストックの復調等により、順調に推移するものと考えております。また、FPD関連装置においては、今期中は大口受注案件の納入を進め、韓国主要取引先の今後の設備投資に合わせた案件の獲得に注力してまいります。ライフサイエンス事業ではCOVID-19による出荷延期分の早期納入を目指します。

この結果、通期連結業績予想に変更はなく、引き続き気を引き締めてローツェグループ一丸となり取り組んでまいります。

拠点紹介



TOPIC 1 カール・ツァイスグループよりSupplier Award 2019 受賞

世界屈指の光学機器メーカーであるカール・ツァイスグループのZEISS Semiconductor Manufacturing Technology SegmentよりSupplier Award 2019を受賞しました。サプライヤーとして長年の実績が高く評価されたことによるものです。なお、世界中で受賞は当社を含め2社となります。今後も当社グループは世界の頂きをめざすお客様とともに、「世の中にないものをつくる」技術開発に取り組んでまいります。



COVID-19感染拡大防止のため今年はオンライン上での授賞式



受賞のクリスタル像

TOPIC 2 欧州拠点、ドイツ子会社設立から1年が経過

当社グループの欧州拠点であるRORZE ENGINEERINGが、小規模クリーンルームを併設した新しいオフィスへと移転しました。並びにISO9001 (品質マネジメントシステム) を取得しております。お客様サポートの充実、更なる市場拡大へ向けて着々と準備を進めております。



RORZE ENGINEERING が入居するオフィスビル外観



オフィス内部の様子



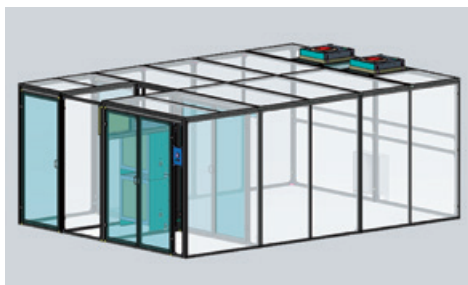
ISO9001認証書

TOPIC 3 ライフサイエンス事業の発展へ

当社グループの半導体製造装置技術を基盤にライフサイエンス事業で培った室圧制御を活用した「陰圧クリーンブース」を共同開発しました。これは主にCOVID-19感染症と向き合う医療従事者の皆様へ向けて考えられた製品となります。

また、広島大学発ベンチャー企業である株式会社スペース・バイオ・ラボラトリーズに対し、技術交流の更なる活性化を見込み、共同出資をおこないました。

そして、中国国内でのライフサイエンス事業をおこなう合併会社RORZE ReMed (上海市) は業務拡大のため移転しております。当社グループはライフサイエンス領域における事業発展のため、様々なコラボレーションを通して知見を広め、新たな技術開発に尽力してまいります。



日立グローバルライフソリューションズ株式会社と共同開発した診療用隔離装置「陰圧クリーンブース」



株式会社スペース・バイオ・ラボラトリーズ開発の歩行支援ロボット RE-Gait® (リゲイト)



RORZE ReMed 開所式

主要な事業内容

セグメント	品目	主要製品名
半導体・FPD関連装置事業	半導体関連装置	大気用ウエハ搬送装置 真空用ウエハ搬送装置 ウエハ搬送ロボット等
	FPD関連装置	ガラス基板搬送装置 ガラスカッティングマシン
	モータ制御機器	ステッピングモータ用ドライバ コントローラ
ライフサイエンス事業	ライフサイエンス関連装置	インキュベータ(細胞培養装置)

株式の状況

(2020年8月31日現在)

発行可能株式総数	35,280,000株
発行済株式の総数	17,281,448株
	(自己株式358,552株を除く)
株主数	4,721名
大株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
崎谷文雄	6,274,200株	36.31%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,049,100	6.07
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	901,800	5.22
藤代祥之	737,600	4.27
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS(常任代理人 香港上海銀行東京支店 カストディ業務部)	562,500	3.25
GOVERNMENT OF NORWAY(常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	337,300	1.95
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	332,900	1.93
株式会社中国銀行	320,000	1.85
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578(常任代理人 株式会社みずほ銀行 決済営業部)	237,100	1.37
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	182,900	1.06

(注) 当社は、自己株式358,552株を保有していますが、上記大株主から除いていません。

株主メモ

決算期	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年2月末日 中間配当実施の場合：毎年8月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び 全国各支店で行っております。

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

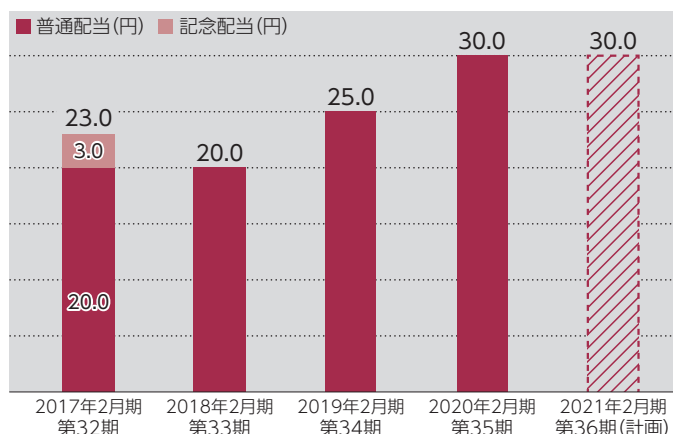
役員

(2020年8月31日現在)

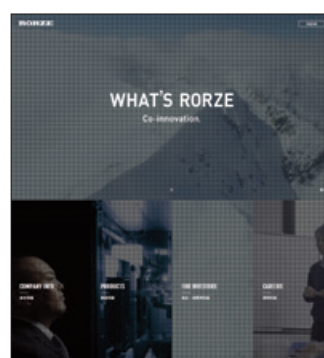
地位	氏名
代表取締役社長	藤代祥之
取締役	中村秀春
取締役	早崎克志
取締役	岩瀬好啓
取締役相談役	崎谷文雄
取締役	藤井修逸
取締役	羽森寛
常勤監査役	下出一益
監査役	栗巢普揮
監査役	金浦東祐

(注) 1. 藤井修逸及び羽森寛の両氏は、社外取締役です。
2. 下出一益、栗巢普揮及び金浦東祐の3氏は、社外監査役です。

配当実績



ホームページのご案内



詳しい会社情報や
財務関連情報をご
覧いただけます。



スマートフォン
にも対応!

ローツエ

検索

<https://www.rorze.com/>

